

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

## 機械学習を活用した感染症治療における抗菌薬使用の最適化に関する研究

### 1. 研究の対象

2009年1月1日 から 2022年12月31日 までの間に、当院の総合内科、呼吸器内科、神経内科、救命救急センターで、細菌培養検査と抗菌薬処方の方を受けた全感染症患者（敗血症などの血液感染症、膿胸などの重症呼吸器感染症、尿路感染症、細菌性髄膜炎）

### 2. 研究目的・方法

目的 電子カルテにある臨床情報を分析し、細菌感染症に対する抗菌薬の使い方を最適化するための研究を実施します。患者さんの検査データと臨床情報を使った機械学習を行い、患者の生存率を最も高くするような最適な治療法を示唆する人工知能を作ります。これにより細菌感染症に対する治療成績の向上をめざします。

方法 東海大学医学部附属病院を受診した感染症患者（敗血症・肺炎・髄膜炎など）について、電子カルテから取りだした検査データと臨床情報を計算機で解析し、培養検査により検出された菌種と使用した抗菌薬の種類による治療成績の差異などを分析します。この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 診療情報等：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、細菌培養検査）、  
入退院日、処方薬など
- ・ 試料：なし

#### 4. 情報の提供先・提供方法

上記の診療情報を外部機関に提供することはありません。

#### 5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

#### 6. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2140）

研究責任者 医学部基礎医学系分子生命科学 今西 規

問い合わせ担当者 医学部基礎医学系分子生命科学・事務室 田代 美佐子